

H27新技術活用等現場研修会

(一社) 日本建設機械施工協会中国支部

1. 日時 平成27年10月7日(水) 8時30分～17時

2. 内容

1) 庄原ダム

広島県庄原市川西町上川西地先に建設中の庄原ダムは、洪水調節、利水の安定化、水道用水源の確保等を目的として、平成27年度末の完成に向けて工事を促進中であった。

現地は、ダム本体コンクリートの打設中(進捗率99%)であり広島県北部建設事業所庄原支所の担当官から仮設備等について概要説明があり、施工企業の担当者の案内で工事施工状況等について実地研修を行った。

2) 国営備北丘陵公園

広島県庄原市にある中国地方唯一の国営公園である備北丘陵公園において森山副所長から「新技術活用の動向」について全体説明があった。その後当公園で採用及び、施工した高含水比建設汚泥やヘドロに繊維質系泥土改良材と固化材である古紙破碎物・水溶性ポリマー・助剤を混合することにより、改良直後に運搬可能な状態とするリサイクル工法であるポンテラン工法について、工法の説明及び実地研修を行った。

3) ビデオ研修

今回は新たな試みとして移動中のバス車内において工事記録の映像(ダム治水、利水の機能や必要性)の視聴を行い、研修内容の充実を図った。

3. 参加者 18名

4. 実地状況

【ビデオによる車内研修】



【庄原ダム 本体工 コンクリート打設状況】



【「新技術活用の動向」と泥土リサイクル技術「ボンテラン工法」の施工事例】



5. 参加者の声

- ・バスでの移動中にダム工事記録のビデオを見たことで、実地研修の内容がより理解できた。
- ・骨材を最低3日は乾燥させるために、集積場所を2か所に分けていたのは良く工夫していると思う。
- ・庄原ダム本体工のコンクリート打設に4.5m³（約生コン車1台分）のホッパーを使うということに、工事の規模の大きさを感じた。
- ・ボンテラン工法は画期的であった。
- ・ボンテラン工法は場合によっては通常の地盤改良より高価になってしまうということ、利用する前の調査が重要だと感じた。